

令和 8 年度
熊本県立大学 総合管理学部
自己推薦型選抜

総合問題試験

問題用紙

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いて中を見てはいけません。
- (2) 問題用紙は、12 ページあります。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号および氏名を記入しなさい。
- (4) 問題は、全部で3問（問題1から問題3まで）あります。3問すべてに答えなさい。
- (5) 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- (6) 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- (7) 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は、持ち帰ってください。

試験問題は、4 ページからです。

試験問題は、4 ページからです。

問題1 次の文章は、人工知能に関する書籍の一節である。この文章を読んで、問1から問3に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

出典(一部抜粋)：鈴木貴之著、『人工知能の哲学入門』、勁草書房、2024年、192～196頁

問1 下線部(a)、(b)、(e)の片仮名を漢字で書きなさい。

問2 下線部(c)、(d)に入る語句の組み合わせを次のアからエより選びなさい。

- | | | |
|----|---------------|----------|
| ア. | (c) 学力レベルである | (d) 学力試験 |
| イ. | (c) 年齢層である | (d) 生年月日 |
| ウ. | (c) 家族構成である | (d) 扶養家族 |
| エ. | (c) 地域に居住している | (d) 住所 |

問3 下線部(f)と(g)にはそれぞれ、黒人の被告と白人の被告の偽陽性率について、計算式とその値が入り、下線部(h)と(i)にはそれぞれ、黒人の被告と白人の被告の正解率について、計算式とその値が入る。これら4つのうち、**(f)黒人の被告の偽陽性率の計算式と、(i)白人の被告の正解率の計算式**として正しいものを次のアからコよりそれぞれ選びなさい。

- | | | | |
|----|-------------|----|-------------|
| ア. | 805 / 1,901 | カ. | 505 / 966 |
| イ. | 805 / 1,795 | キ. | 505 / 1,488 |
| ウ. | 805 / 2,174 | ク. | 505 / 854 |
| エ. | 805 / 1,522 | ケ. | 505 / 1,600 |
| オ. | 805 / 3,696 | コ. | 505 / 2,454 |

問題2 次の英文を読んで、問1から問4に答えなさい。なお、下線(実線)は原文のままである。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

注:

doctoral: 博士号の、博士課程の

mundane: 平凡な、ありふれた

UW: University of Washington の

uncorrelated: 相関関係のない、無相関の

whereas: ~であるのに対して、~である一方

bullying: いじめ

underlie: ~の基礎にある、~の基礎となる

skewed: ゆがめられた、歪曲された

portrayal: 描写、描かれたもの

coverage: 報道

quotidian: 毎日の、日常の、平凡な

perspective: 見方、態度、視点

lurid: ぞっとするような、センセーショナルな

overt: あからさまな、公然の

toxicity: 毒性、有害性

persist: 存続する、持続する

implicitly: 暗黙のうちに、暗に

integrated into: ~に組み込まれている

出典: Milne, S. (2025, January 21). *Study finds strong negative associations with teenagers in AI models*. UW News.

<https://www.washington.edu/news/2025/01/21/teens-ai-chatgpt-bias/>

問1 波線部(a)、(b)、(d)の動詞の原形を答えなさい。

問2 波線部(c)を日本語に訳しなさい。

問3 波線部(e)では“high-quality”のように二重引用符を使うことで文字通りの意味ではないことを表していますが、二重引用符を付けることで、どのようなことを伝えようとしているか、本文に沿って日本語で答えなさい。

問4 波線部(f)について、このような危険を防ぐためには、どのような対策が有効であると述べられているか、本文に沿って日本語で答えなさい。

問題3 次の図1から図3は、30カ国を対象とした人工知能(AI)に関する国際調査の結果を図示したものである。図中の点は各参加国を表し、各軸の数値はそれぞれの質問に「あてはまる」と答えた人の割合(%)を表している。質問文は、各軸の左や下に表示されている。これらの図について、問1から問3に答えなさい。

図1

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

図2

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

図3

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

出典： Ipsos AI Monitor 2025 をもとに翻訳・作成

<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/publication/documents/2025-06/Ipsos-AI-Monitor-2025.pdf>

- 問1 図1の「AIを使った製品やサービスにワクワクする」という質問に「あてはまる」と答えた人の割合(%)と、「どのような種類の製品やサービスがAIを使っているかを知っている」という質問に「あてはまる」と答えた人の割合(%)の関係について、全体の傾向を60字程度で答えなさい。
- 問2 図2の「AIをよく理解している」という質問に「あてはまる」答えた人の割合(%)と、「AIを使った製品やサービスに不安を感じる」という質問に「あてはまる」と答えた人の割合(%)について、他国と比較した際の日本の特徴を60字程度で答えなさい。
- 問3 図3を見ると、多くの点が破線よりも上に位置していることが分かる。このことから読み取れることを40字程度で答えなさい。